

# Norton Internet Security2010 導入時の注意事項

Norton Internet Security2010 をインストールした場合、弊社のシステムの一部に計算や DXF、BFO 形式での図化が正常に動作しなくなることがあります。原因は計算や DXF、BFO 形式での図化生成に伴うプログラムが Norton の SONAR 機能により疑わしい動作をするプログラムとして削除されてしまうためです。そのような現象が発生した場合には次の対処法を行って下さい。

1. Norton Internet Security2010 を起動し、検疫をクリックします。

The screenshot shows the Norton Internet Security 2010 interface. The main window is titled "Norton Internet Security" and features a large green checkmark icon with the word "安全" (Safety) below it. On the left, there are performance indicators for CPU and Norton, both at 0%, and a "パフォーマンス" (Performance) section with "アプリケーション評価" (Application Evaluation). The main content area is divided into three sections: "コンピュータ" (Computer), "ネットワーク" (Network), and "Web". The "コンピュータ" section is currently selected and expanded, showing options like "今すぐに入力" (Input now), "履歴と検疫" (History and Quarantine), and "LiveUpdate を実行 4分前" (Run LiveUpdate 4 minutes ago). A red arrow points to the "検疫" (Quarantine) option with the word "クリック" (Click) written above it. The "ネットワーク" section shows "脆弱性保護" (Vulnerability Protection) and "ネットワークセキュリティマップ" (Network Security Map). The "Web" section shows "ログイン情報とカード" (Login Information and Cards), "保護者機能" (Parental Controls), "ID セーフ" (ID Safe), "ブラウザ保護" (Browser Protection), "安全な Web 閲覧" (Safe Web Browsing), and "ダウンロードインテリジェンス" (Download Intelligence). At the bottom, there is a "有効期間の残りはあと 28日です" (28 days left in validity period) and a "今すぐ購入" (Buy Now) button.

2. セキュリティ履歴で検疫となったファイル情報を確認します。ファイル情報を確認するには赤枠で囲んだ箇所をダブルクリックします。

セキュリティ履歴

表示 検疫

リストの更新

クイック検索: 実行

重大度	活動	状態	日時
● 高レベル	whbcal.exe (whbcal.exe) を SONAR が検出しました	検疫済み	2010年6月4日 19:19

推奨する処理  
解決しました - 処理なし

オプション

詳細

疑わしい動作を検出した場所:  
whbcal.exe

ユーザー  
ごく少数のユーザー

元の場所  
利用不能

活動  
実行した処理: 1

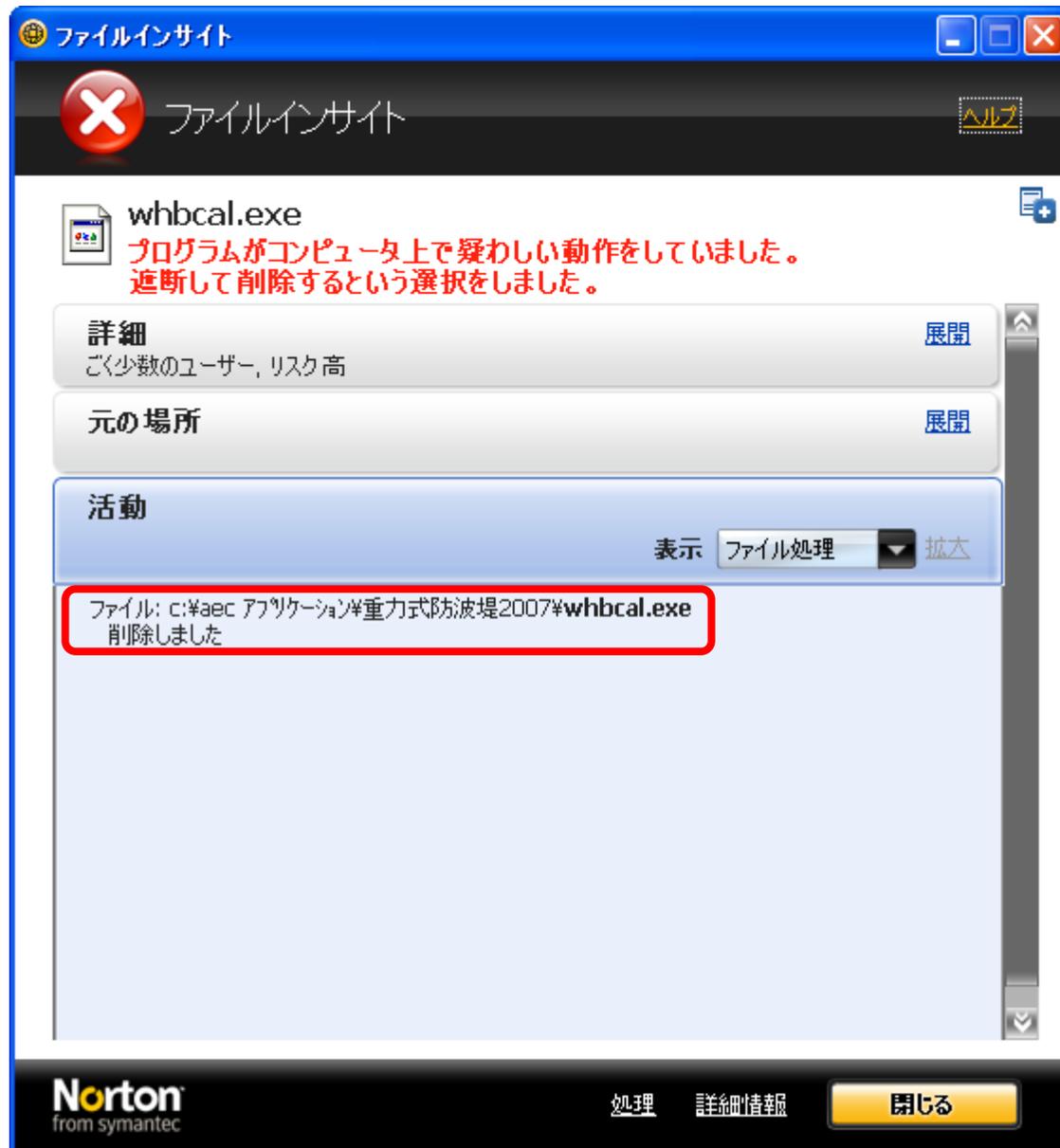
詳細

Norton from symantec

インポート エクスポート 検疫に追加 エントリの消去 閉じる

3. ファイルインサイトより削除されたファイルのパスを確認します。

赤枠で囲んだ場所には書かれている文字が弊社のシステムのものであれば、閉じるをクリックして4. に進んで下さい。



4. オプションボタンをクリックします。

The screenshot shows the Norton Security History window. The main table displays a security event with the following details:

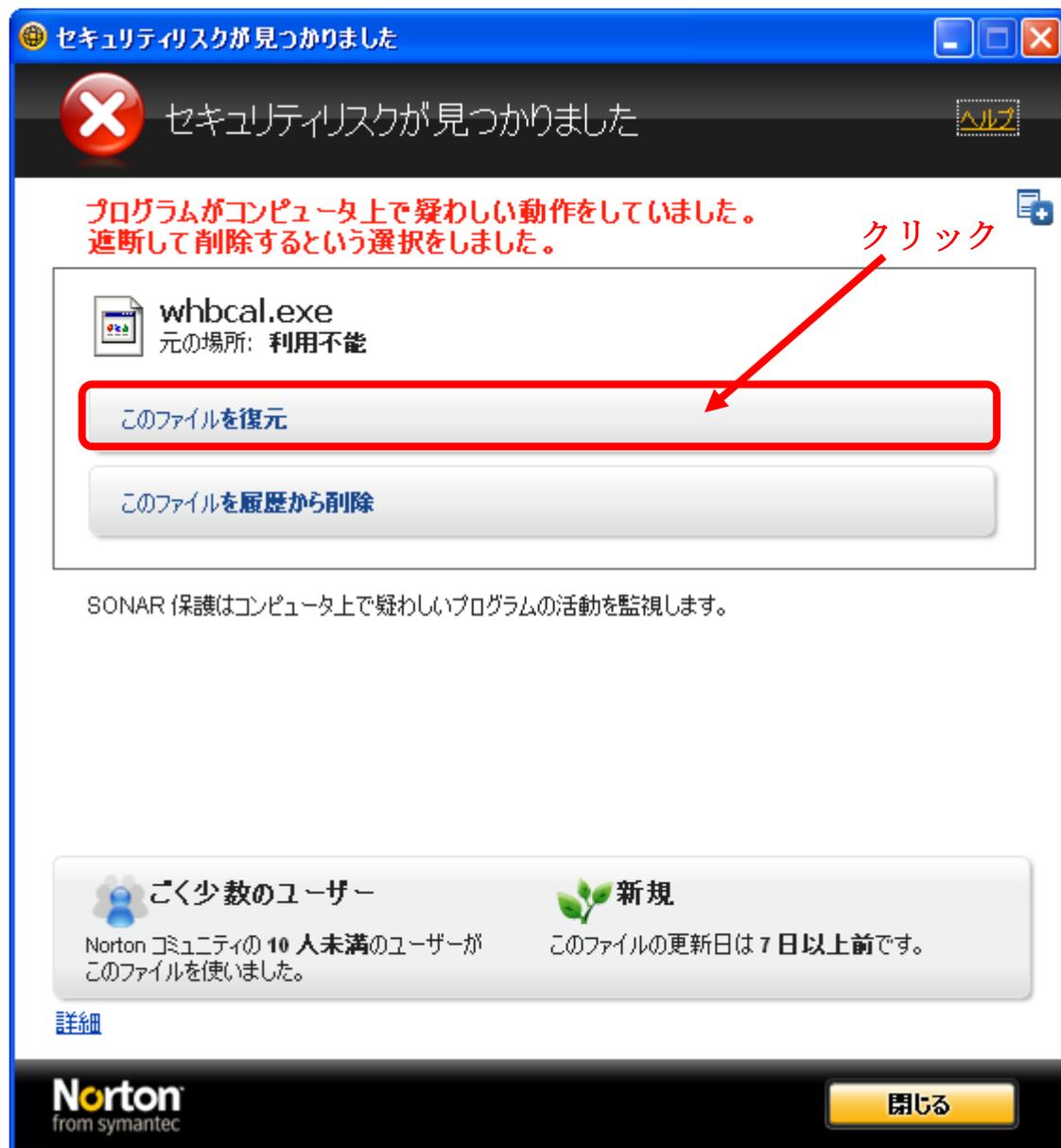
重大度	活動	状態	日時
● 高レベル	whbcal.exe (whbcal.exe) を SONAR が検出しました	検疫済み	2010年6月4日 19:19

On the right side, the '推奨する処理' (Recommended Action) panel shows '解決しました - 処理なし' (Resolved - No Action) and an 'オプション' (Options) button, which is highlighted with a red box and a red arrow labeled 'クリック' (Click). Below this, the '詳細' (Details) panel provides further information:

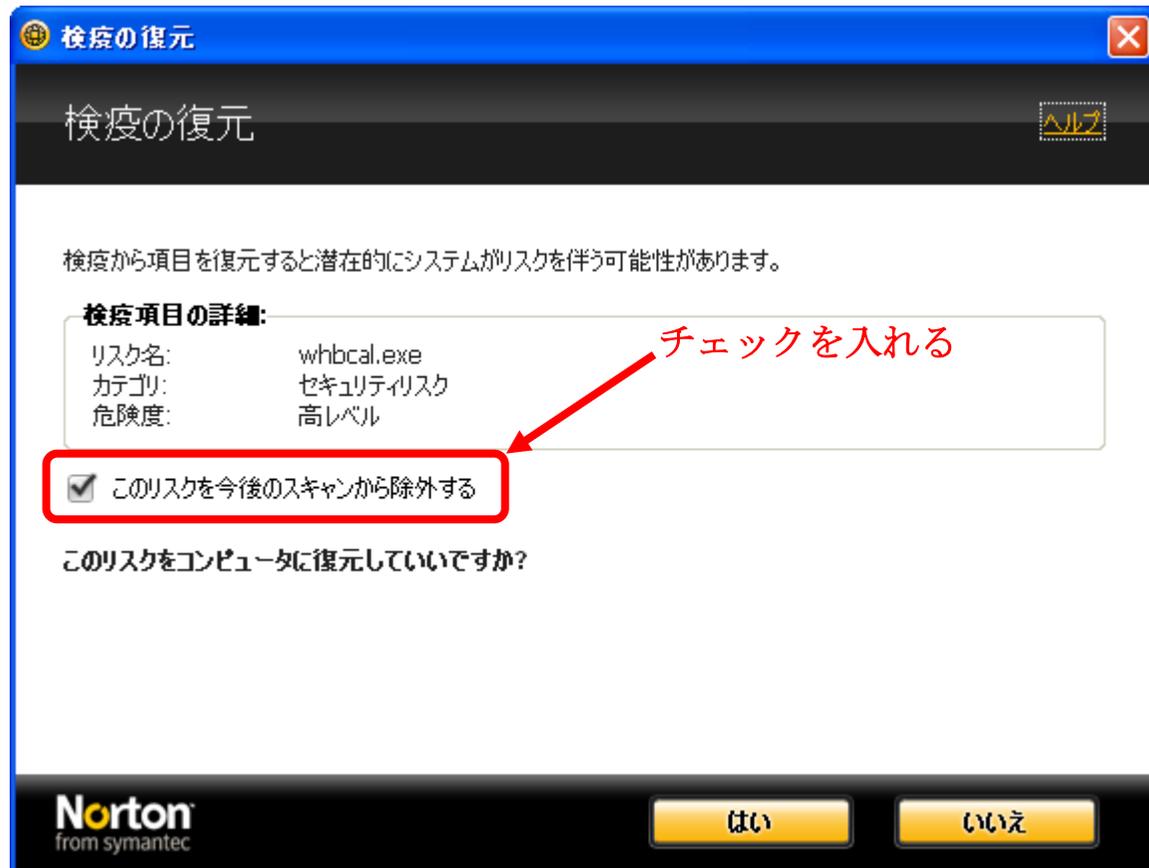
- 疑わしい動作を検出した場所: whbcal.exe
- ユーザー: ごく少数のユーザー
- 元の場所: 利用不能
- 活動: 実行した処理: 1

At the bottom of the window, there are buttons for 'インポート', 'エクスポート', '検疫に追加', 'エントリの消去', and '閉じる'. The Norton logo 'from symantec' is visible in the bottom left corner.

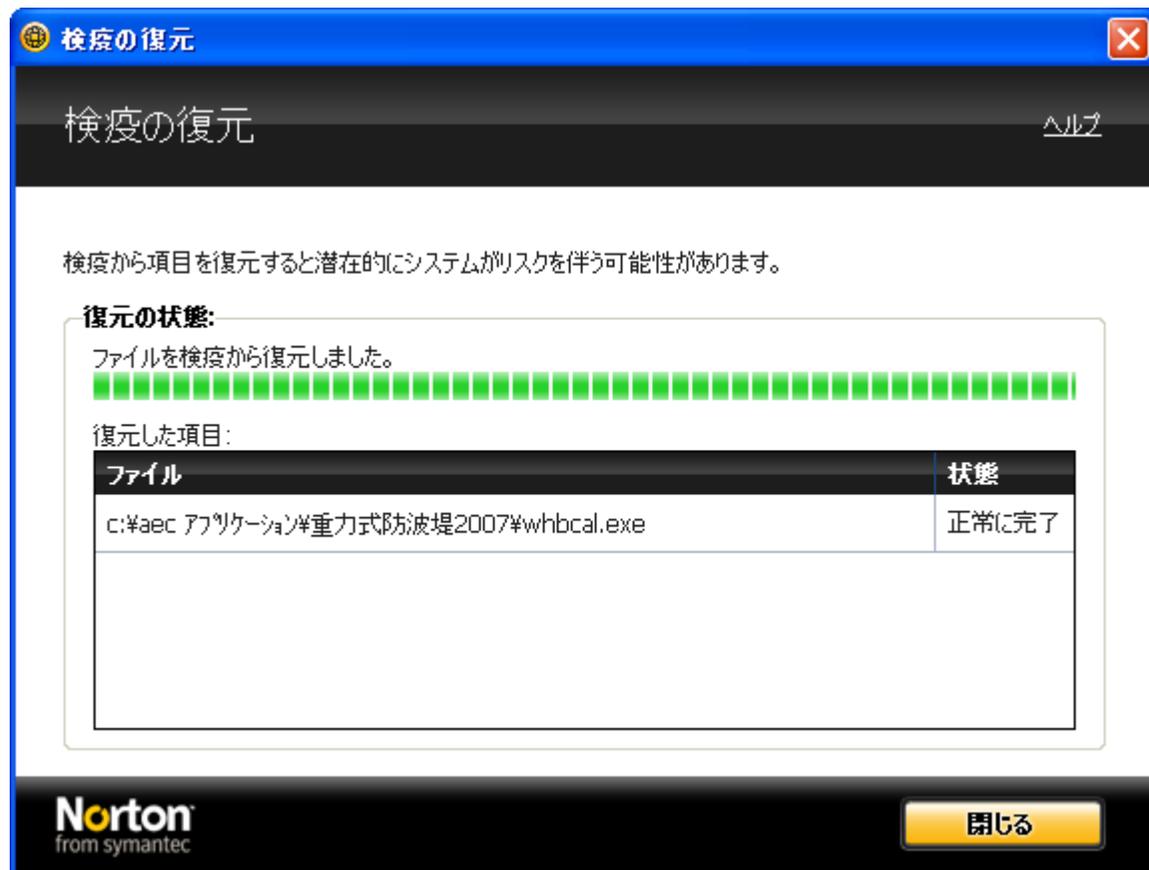
5. 4. より表示される以下の画面で「このファイルを復元」をクリックします



6. 検疫の復元画面で「このリスクを今後のスキャンから除外する」にチェックを入れて『はい』をクリックして下さい。



7. 検疫の復元が完了したら『閉じる』をクリックします。



8. セキュリティ履歴の『閉じる』をクリックします。

9. スタート→設定→コントロールパネル→プログラムの追加と削除をクリックし、検疫の対象となったシステムをアンインストールします。

10. 検疫の対象となったシステムがインストールされたフォルダを削除します。

11. 検疫の対象となったシステムを CD／ホームページよりダウンロードし、システムをインストールします。